

さまざまな 脱水症にご注意を！

子供たちがよくかかる病気の1つにおう吐・下痢症があります。
下痢やおう吐は、感染したウイルス等を体から排出しようとする
大切な防御反応です。

しかし、**下痢やおう吐**が長く続くと、
体から大量の水と塩分等が失われて
脱水症になることがあります。
また、炎天下や高温の場所での
スポーツ等による**過度の発汗**が原因で、
脱水症になることがあります。



こういう状態のときは、**水と塩分を
同時に補給**することが大切です。
水やお茶だけでは、
十分な水と塩分の補給ができず、
かえって状態が悪くなる
場合もあるので注意が必要です。



このような場合は、
早めに医師にご相談ください。

感染性腸炎、 感冒による 下痢・嘔吐・発熱を原因とした脱水症に 経口補水液 **OS-1** オーエスワン®シリーズ



■ オーエスワン/オーエスワン アップル風味/オーエスワンゼリーが許可を受けた表示内容

オーエスワン/オーエスワン アップル風味/オーエスワンゼリーは、脱水症のための食事療法（経口補水療法）に用いる経口補水液です。軽度から中等度の脱水症における水・電解質の補給、維持に適した病者用食品です。下記の状態等を原因とした脱水症の悪化防止・回復、脱水症の回復後も下記の状態等における水・電解質の補給、維持にご利用ください。

- 感染性腸炎、感冒による下痢・嘔吐・発熱 ● 高齢者の経口摂取不足 ● 過度の発汗
- また、脱水を伴う熱中症にもご利用ください。

■ さらにオーエスワンゼリーが許可を受けた表示内容

オーエスワンゼリーは、そしゃく・えん下困難な場合にも用いることができますが、医師とご相談の上、ご利用ください。

■ 摂取上の注意

医師から脱水症の食事療法として指示された場合にお飲みください。医師、薬剤師、看護師、管理栄養士、登録販売者の指導に従ってお飲みください。
食事療法の素材として適するものであって、多く飲用することによって原疾患が治癒するものではありません。
右記の1日当たりの目安量を参考に、脱水状態に合わせて適宜増減してお飲みください。

学童～成人(高齢者を含む)	500～1000mL(g)/日
幼児	300～600mL(g)/日
乳児	体重1kg当たり 30～50mL(g)/日

(注) オーエスワンゼリーの場合は、単位が(g)となります。

■ オーエスワンの電解質含有量比較

オーエスワン(OS-1) 1本(500mL)の ナトリウム含有量は575mg(食塩1.46g)	オーエスワン(OS-1) 1本(500mL)の カリウム含有量は390mg

文部科学省 日本食品標準成分表2020年版(八訂)より (https://www.mext.go.jp/a_menu/syokuhinseibun/mext_01110.htm) 2024年6月現在



販売者 株式会社大塚製薬工場 販売提携 大塚製薬株式会社
OS-1に関するお問い合わせ先: (株)大塚製薬工場 お客様相談センター ☎0120-872-873
許可なく本資料・イラストを転載、引用、複製、改変、第三者へ提供することを禁じます。

2024年6月改訂 OSG3224G02 (6247) KK

ご利用に
なる方へ

気をつけたい 子供たちの 脱水症

—経口補水療法のてびき—



冊子の内容は
こちらより
ご覧いただけます

監修: 社会医療法人天神会 新古賀病院 教育研修本部 鶴 知光

こんなときはお医者さんに 診てもらいましょう。

幼児や学童で以下のような症状があるときは、既に重症化しているか他の病気の可能性があります。できるだけ早く小児科を受診しましょう。



下痢・おう吐・過度の発汗を原因とした脱水症に適した経口補水療法

経口補水療法とは、おう吐や下痢、過度の発汗を原因とした脱水症を改善させる方法の一つで、塩分と糖分の配合バランスを考慮した飲料(経口補水液)を口から飲ませるというものです。脱水症が重症でない場合は、安静にして、経口補水液で十分な水と塩分等の補給を行います。

経口補水療法は、失った分を失った分だけ補ってあげるのが基本的な考え方で、点滴のような特別な器具や技術は不要です。状態が安定していて口から飲める場合は、この経口補水療法が適していることがありますので、医師にご相談ください。

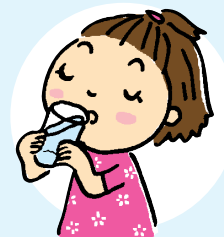


経口補水液の飲ませ方

1 下痢・おう吐が治まったけれど、まだ脱水症になっていないとき。

- 下痢やおう吐があるたびに経口補水液を飲ませてください。

メモ



2 下痢・おう吐や過度の発汗が原因で軽度～中等度の脱水症になったとき。

- はじめの3～4時間は、飲みたがるだけ飲ませましょう。ただし、あわてずにゆっくりと。
- 4時間目以降は、下痢やおう吐があるたびに失った分だけ経口補水液を飲ませてください。

メモ



●飲ませ方のコツ

- 一度にたくさん飲ませると吐くことがあります。はじめは、一口ずつが、ティースプーンなどを使い少量ずつ頻繁に飲ませてください。ある程度飲ませても吐かなければ、自由に飲ませてください。もし、おう吐が止まらない時は、医師にご相談ください。



- 経口補水液を飲ませて、尿量が増えてきたり、尿の色が薄くなってきたら、脱水症が改善してきた証拠です。医師にご相談のうえ、年齢にあった普通の食事を再開してください。その後も下痢やおう吐があるようなら経口補水液を飲ませると良いでしょう。



●一日当たりの目安量

下記の一日常たりの目安量を参考に脱水状態に合わせて加減してください。(一日常たりの目安量は一日の必要量の約半分を示しています)

学童～成人 (高齢者を含む)	幼児	乳児
500～1000mL(g) /日	300～600mL(g) /日	体重1kg当たり 30～50mL(g) /日

(g)はゼリータイプに適用する

経口補水液は、医療機関の売店や薬局で販売されています。

